

# 子供・若者インデックスボード

「子供・若者インデックスボード」とは、子供・若者の生育状況等に関する各種指標を「子供・若者インデックス」と名づけ、それらを整理し、可視化したデータ集です。

子供・若者育成支援推進大綱（2021年4月策定）において、子供・若者育成支援施策の評価や、社会総掛かりでの子供・若者の育成に資するため、作成・公開することとされました。

バージョン番号については、指標の加除を行った場合は小数点前の数字を、データの更新を行った場合は小数点後の数字を変更していきます。

## 【構成】

○子供・若者の現状を、主観、客観の両面から明らかにするため、子供・若者の意識、子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況、の2部構成としています。併せて、内閣府が作成・公開している「満足度・生活の質を表す指標群（ダッシュボード）」に、子供・若者に係るデータがある場合には当該データを追記した資料を掲載しています。

## 【目次】

子供・若者の意識	子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況	満足度・生活の質を表す指標群（ダッシュボード）
1.自己について(自己肯定感等)・・・1		
2.周囲について・・・2		
居場所・・・2		
相談できる人・・・3		
助けてくれる人・・・4		
場ごとの認識・・・5		
人との関わり・・・5		
居場所の数と自己認識の関係・・・6		
相談できる人がいる場の数と自己認識の関係・・・7		
困ったときに助けてくれる人がいる場の数と自己認識の関係・・・8		
3.支援について・・・9		
居場所の数との関係・・・10		
	1.場ごとの状況・・・11	・家計と資産・・・21
	家庭(虐待、貧困、ひきこもり等)・・・11	・雇用と賃金・・・22
	学校(自殺、不登校、いじめ等)・・・12	・住宅・・・23
	地域(地域での付き合い等)・・・15	・仕事と生活・・・24
	ネット(利用状況、SNS被害等)・・・16	・健康状態・・・25
	働く場(失業率、平均賃金等)・・・17	・教育環境・教育水準・・・26
	2.複数の場に共通する状況・・・19	・社会とのつながり・・・27
	生命・安全(自殺、犯罪等)・・・19	・自然環境・・・28
	健康(肥満、痩身、視力等)・・・20	・身の周りの安全・・・29
		・子育てのしやすさ・・・30
		・介護のしやすさ・されやすさ・・・31

## 【凡例】

○、の時系列の棒グラフについては、これまで5年周期で大綱を策定し、施策を推進してきたことを踏まえ、比較可能なデータがある場合は、直近のデータと、5年前のデータ（5年前のデータがない場合は、それに最も近い時期のデータ）を掲載し、この間の変化を直感的に把握できるようにしています。また、直近のデータが改善している場合は棒を空色（ ）に、改善していない場合（データの増減だけで改善したかどうかを判断することが困難な場合を含む）は棒を赤色（ ）にしています。

○年号の数字は、西暦の下2ケタです。

○「子供・若者の意識」の値は、設問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答の合計値です。

# 子供・若者インデックスボード ver.4.0

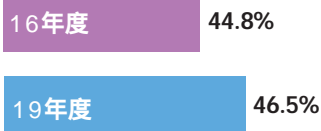
令和5年3月1日時点

子供・若者の意識（出典 内閣府「子供・若者の意識に関する調査」）

## 1. 自己について

### 自己肯定感

今の自分が好きだ



### 自己有用感

自分は役に立たないと強く感じる



### 今の充実感

今の生活が充実している



### 将来への希望

自分の将来について明るい希望を持っている



13年度については 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」の数値

### チャレンジ精神

うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



### 社会貢献意欲

社会のために役立つことをしたい



詳細は、内閣府ホームページ（<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/r01/pdf-index.html>）参照



## 2. 周囲について

居場所 次の場所が、ほっとできる場所、居心地のよい場所等になっている

### 自分の部屋



### 家庭

(実家や親族の家を含む)



### 学校

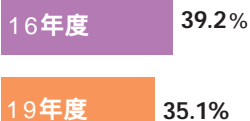
(卒業した学校を含む)



### 地域



### 職場

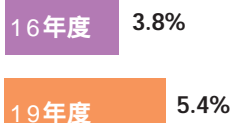


### インターネット空間



### どこにも居場所がない

(上記のいずれも居場所になっていない)



## 相談できる人 次の場所に、何でも相談できる人がいる

### 家庭

(実家や親族の家を含む)

16年度 59.8%

19年度 58.8%

### 学校

(卒業した学校を含む)

16年度 57.7%

19年度 57.7%

学校で出会った友人についての質問

### 地域

16年度 18.2%

19年度 18.5%

### 職場

16年度 31.1%

19年度 33.6%

### インターネット空間

16年度 21.3%

19年度 23.7%

### どこにも相談できる人がいない

(上記のどこにも何でも相談できる人がいない)

16年度 23.1%

19年度 21.8%

## 助けてくれる人 次の場所に、困ったときに助けてくれる人がいる

### 家庭

(実家や親族の家を含む)

16年度 78.4%

19年度 77.4%

### 学校

(卒業した学校を含む)

16年度 65.0%

19年度 65.6%

学校で出会った友人についての質問

### 地域

16年度 26.4%

19年度 27.4%

### 職場

16年度 50.6%

19年度 51.6%

### インターネット空間

16年度 21.8%

19年度 23.3%



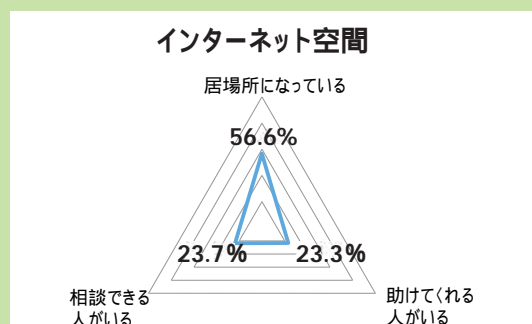
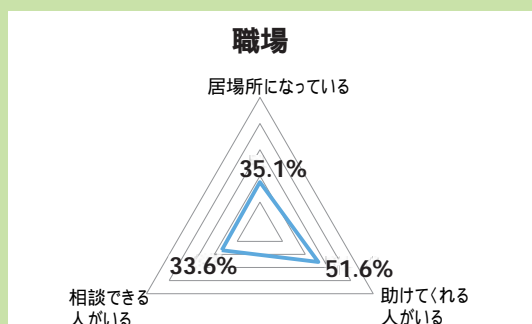
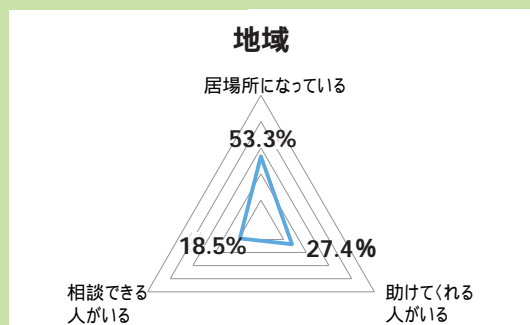
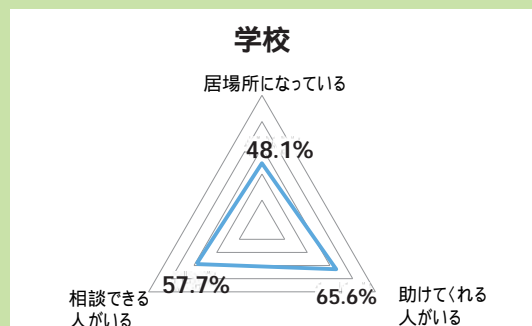
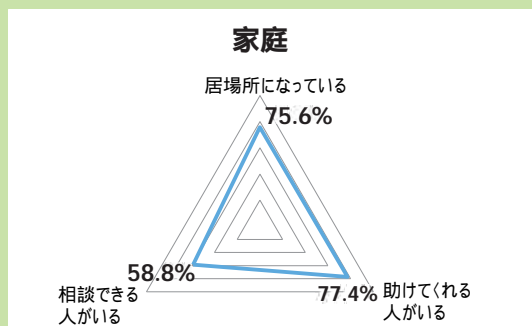
### どこにも助けてくれる人がいない

(上記のどこにも助けてくれる人がいない)

16年度 12.7%

19年度 11.3%

## 場ごとの認識



19年度のデータ

## 人との関わり

### 親子関係

自分の親（保護者）から愛されていると思う

19年度

73.7%

### 対人関係

誰とでもすぐ仲良くなれる

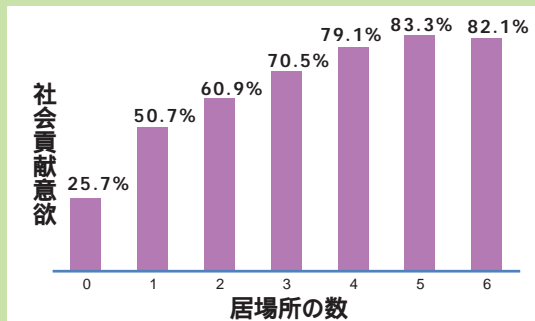
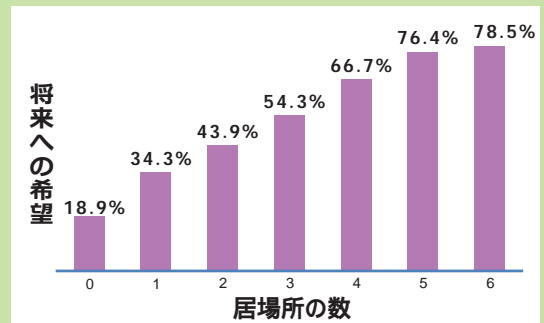
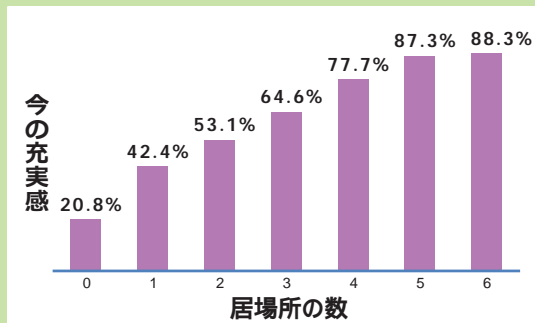
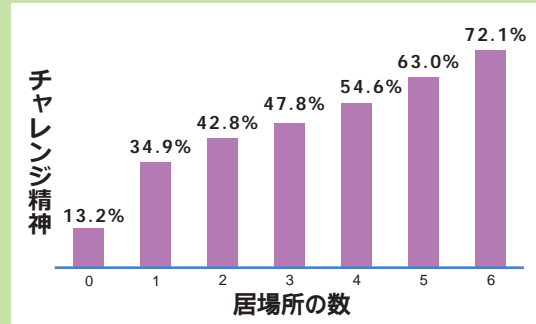
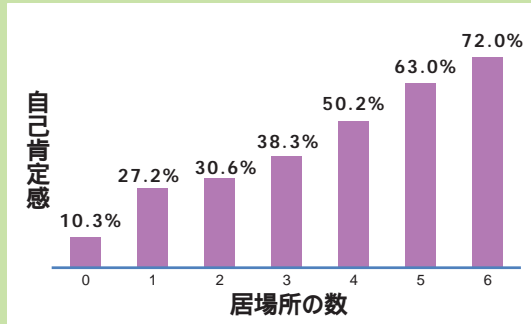
16年度

43.0%

19年度

43.0%

## 居場所の数と自己認識の関係

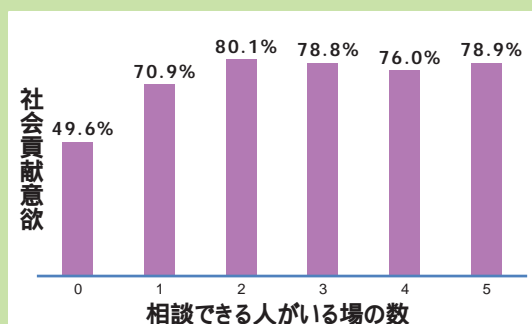
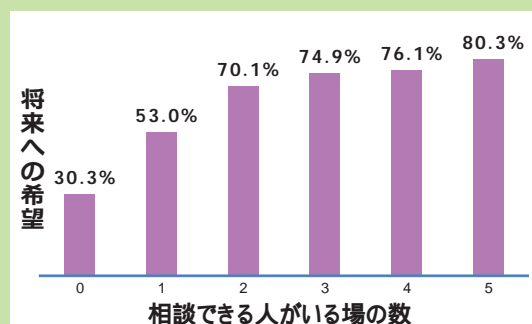
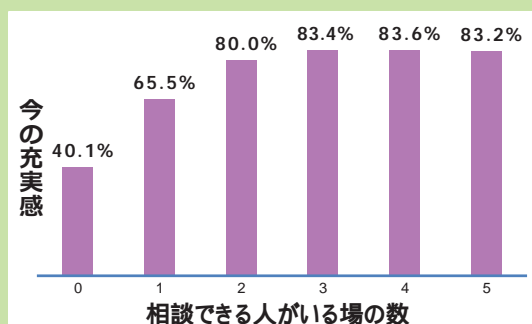
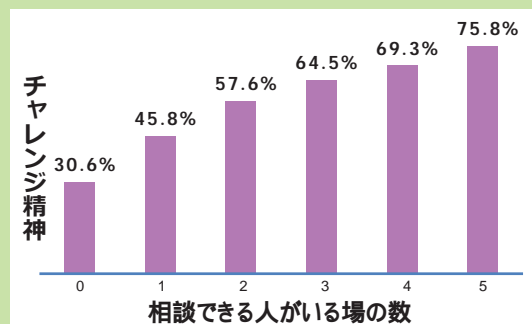
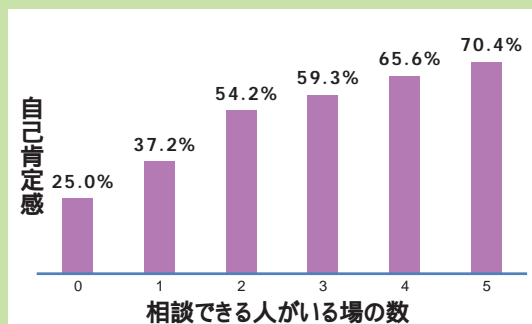


19年度のデータ



居場所の数（自室、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）  
の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。

## 相談できる人がいる場の数と自己認識の関係

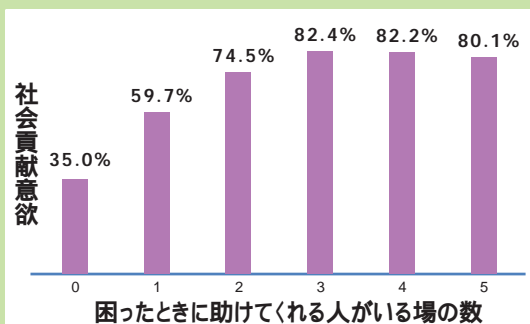
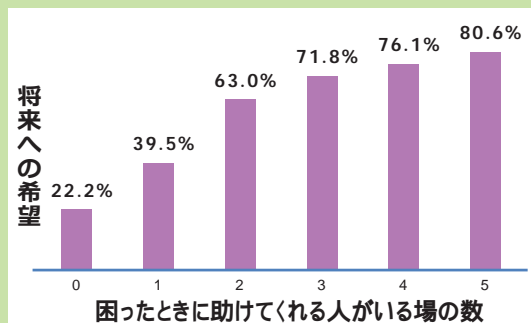
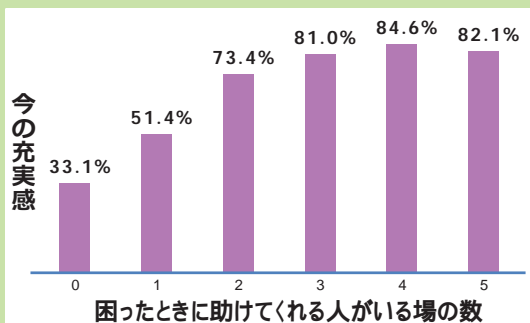
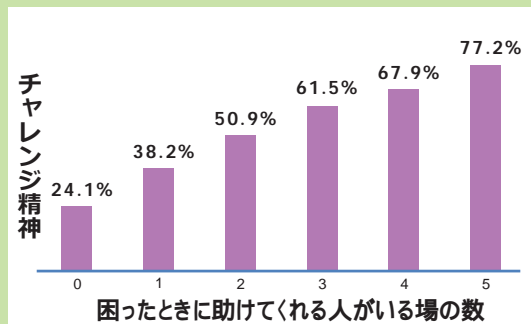
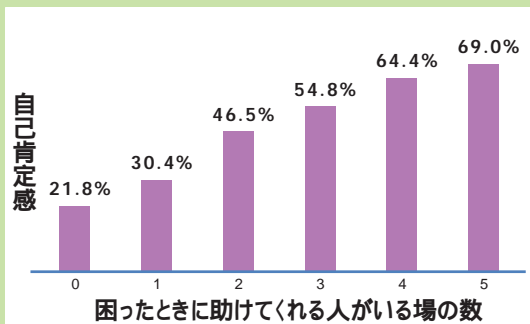


19年度のデータ

相談できる人がいる場（家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。



## 困ったときに助けてくれる人がある場の数と自己認識の関係



19年度のデータ



困ったときに助けてくれる人がある場（家庭、学校、地域、職場、インターネット空間）の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関。

### 3. 支援について

#### 困難経験

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があった



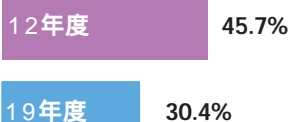
#### 困難改善経験

の状態が改善した経験があった



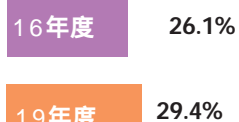
#### 役に立った支援

受けた支援に効果があったものはない



#### 支援機関の認知度

知っている機関 はない



児童相談所、ハローワーク、児童館、教育相談所等

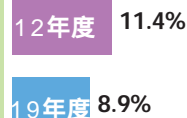
#### 支援機関の利用希望

利用したいと思わない

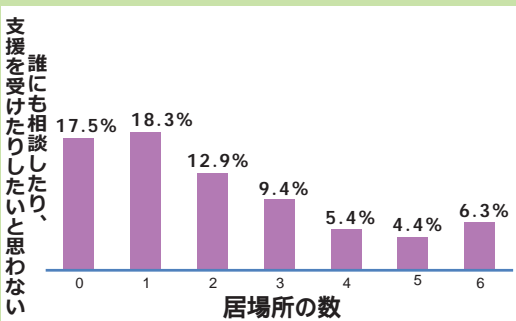
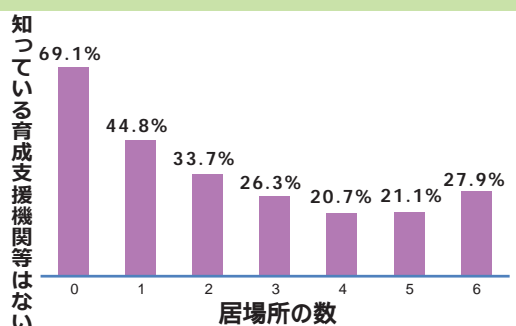
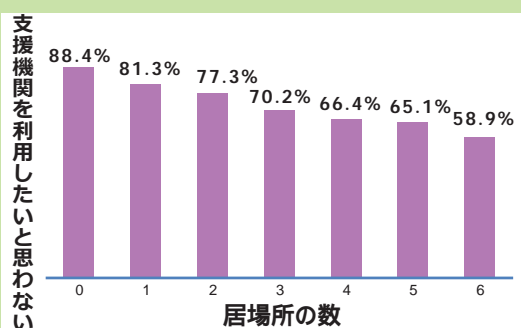
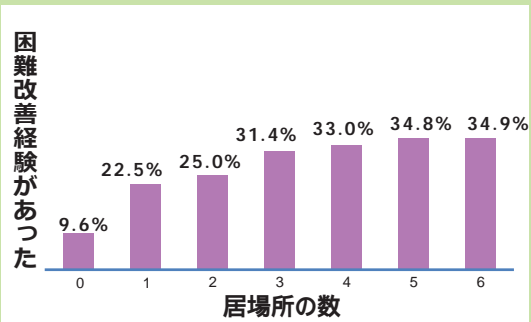


#### 相談・支援の希望

誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない



## 居場所の数との関係



19年度のデータ



居場所の数が少ない人ほど、困難な状態が改善した経験が少なく、支援希望や支援機関の認知度等も低い傾向がある。

# 子供・若者及び子供・若者を取り巻く状況

## 1. 場ごとの状況

### 家庭

#### 児童虐待

児童相談所における児童虐待相談対応件数



厚生労働省「福祉行政報告例」

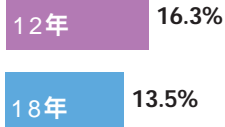
警察が検挙した児童虐待事件の検挙件数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

#### 貧困

子供の貧困率



厚生労働省「国民生活基礎調査」

#### ひとり親家庭

子供がいる現役世帯のうち、大人が1人の世帯の貧困率



厚生労働省「国民生活基礎調査」

ひとり親と未婚の子供のみ世帯の平均所得



厚生労働省「国民生活基礎調査」

子供とは18歳未満の者をいい、子供がいる世帯に限定した場合の平均所得

ひとり親家庭の子供の進学率（高校等）



厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」

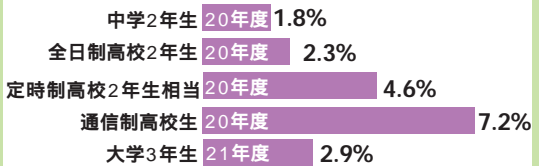
ひとり親家庭の子供の進学率（大学等）



厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」

#### ヤングケアラー

自分はヤングケアラーに当てはまる

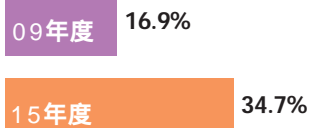


厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子供自身がやりたいことができないなど、子供自身の権利が守られていないと思われる子供

#### ひきこもり

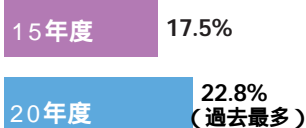
ひきこもりの状態になってからの期間が7年以上の者



内閣府「若者の生活に関する調査」、「若者の意識に関する調査」

#### 社会的養護

里親等委託率



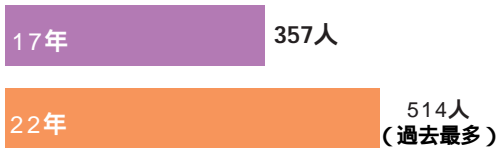
厚生労働省「福祉行政報告例」

「里親等」は、平成21年度から制度化されたファミリーホーム（養育者の家庭で5～6人の児童を養育）を含む

# 学校

## 自殺

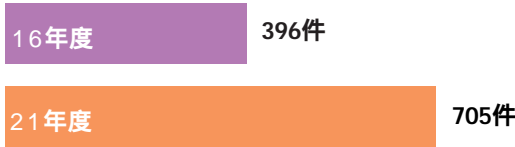
児童生徒の自殺者数



警察庁「自殺統計」より厚生労働省作成

## いじめ

いじめの重大事態



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

パソコンや携帯電話等での誹謗・中傷被害



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

## 不登校

小・中学校における不登校児童生徒数



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

高校における不登校生徒数



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

## 高校中退

高校における中途退学者数



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

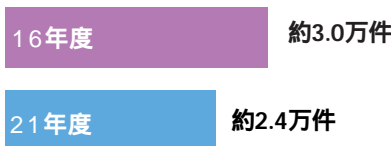
## 暴力

学校内外の暴力行為（小学校）



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

学校内外の暴力行為（中学校）



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

学校内外の暴力行為（高校）



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

## OECD生徒の学習到達度調査（PISA）

「数学的リテラシー」平均得点

15年 532点  
(1位)

18年 527点  
(1位)

文部科学省資料 カッコ内はOECD加盟国中の順位

「読解力」平均得点

15年 516点  
(6位)

18年 504点  
(11位)

文部科学省資料 カッコ内はOECD加盟国中の順位

「科学的リテラシー」平均得点

15年 538点  
(1位)

18年 529点  
(2位)

文部科学省資料 カッコ内はOECD加盟国中の順位

## 体力テストの合計点

小学5年生（男子）

16年度 53.93点

21年度 52.53点

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

中学2年生（男子）

16年度 42.00点

21年度 41.05点

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

小学5年生（女子）

16年度 55.54点

21年度 54.66点

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

中学2年生（女子）

16年度 49.41点

21年度 48.41点

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

## 学校における体験活動の実施時間数

小学校

14年度 40.1時間

17年度 33.8時間

文部科学省調べ

中学校

14年度 39.9時間

17年度 35.6時間

文部科学省調べ

高校

14年度 42.3時間

文部科学省調べ

## 留学生交流

日本人の海外留学者数

15年 約5.5万人

20年 約6.2万人

OECD等による統計を基に文部科学省が集計

外国人留学生

16年 約23.9万人

21年 約24.2万人

独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

## 地域での付き合い

付き合っていると回答した割合



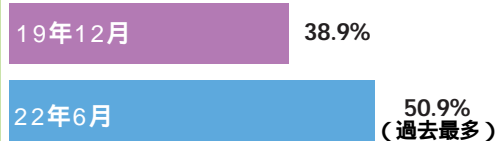
内閣府「社会意識に関する世論調査」  
2017年と2022年とは、調査方法が異なるため、単純比較はできない。

## 団体などが行う自然体験活動への参加率



独立行政法人国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する自立調査」

## 地方移住に関心があると回答した 東京23区の20代の割合



内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

## 社会全体が一体となって子供・若者の健やかな 成長を支える必要があると思う人の割合



内閣府「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」

## 放課後子供教室数



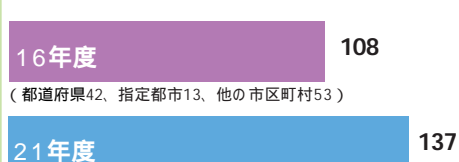
文部科学省「地域と学校の連携・協働体制構築事業」  
2021年度から集計様式を変更したため、経年比較できない

## 放課後児童クラブ数



厚生労働省「放課後児童健全育成事業の実施状況」

## 子ども・若者計画策定地方公共団体数

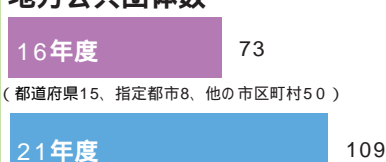


(都道府県42、指定都市13、他の市区町村53)

(都道府県44、指定都市16、他の市区町村77)

内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」

## 子ども・若者総合相談センター設置 地方公共団体数

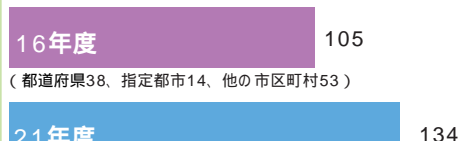


(都道府県15、指定都市8、他の市区町村50)

(都道府県21、指定都市9、他の市区町村79)

内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」  
2016年度は設置地域数のため単純比較はできない。

## 子ども・若者支援地域協議会設置 地方公共団体数



(都道府県38、指定都市14、他の市区町村53)

(都道府県42、指定都市14、他の市区町村78)

内閣府「地方青少年育成支援行政の現況調査」  
2016年度は設置地域数のため単純比較はできない。



## ネット

### インターネット利用率

6～12歳



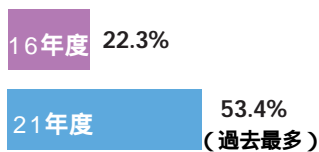
13～19歳



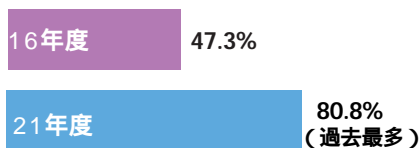
総務省「通信利用動向調査」

### スマートフォン利用状況

小学生



中学生



高校生



内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」  
設問に相違があるため、直接比較できない。

### インターネット利用時間

平均利用時間3時間以上の割合

小学生



中学生



高校生



内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」  
設問に相違があるため、直接比較できない。

### SNSに起因する事犯の被害児童数



警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

### フィルタリング率

子供のインターネット利用に関し、  
フィルタリングを利用するとした保護者の割合



内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」  
令和3年度調査から「インターネットを利用している機器」の対象を15種から7種に変更しているため、令和2年度までの調査結果とは直接比較できない。

## 働く場

### 完全失業率（男女計）

15～19歳

17年 4.0%

22年 2.8%

20～24歳

17年 4.7%

22年 4.8%

25～29歳

17年 4.1%

22年 3.8%

総務省「労働力調査」

### 非正規雇用者比率（男女計）

15～24歳

17年 27.2%

22年 24.4%

25～34歳

17年 25.9%

22年 22.2%

総務省「労働力調査」

### 15～39歳人口に占める若年無業者の割合（男女計）

17年 2.1%

22年 2.3%

総務省「労働力調査」

### 15～34歳人口に占めるフリーターの割合

男性

17年 5.4%

22年 4.9%

女性

17年 6.6%

22年 5.9%

総務省「労働力調査」

### テレワークの実施率

19年  
12月 10.3%

22年6月 30.6%

内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

## 平均賃金

～19歳

正社員・正職員

16年 176.1千円

21年 183.9千円

正社員・正職員以外

16年 156.6千円

21年 167.9千円

20～24歳

正社員・正職員

16年 208.0千円

21年 216.6千円

正社員・正職員以外

16年 182.2千円

21年 183.0千円

25～29歳

正社員・正職員

16年 243.1千円

21年 250.9千円

正社員・正職員以外

16年 200.3千円

21年 204.9千円

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

令和2年より推計方法を有効回答率を考慮したものに変更しているため、比較には注意を要する。

## 就職・進学者数の割合（学校別）

高校

17年 (就職率17.6%、進学率76.9%) 94.5%

22年 (就職率14.6%、進学率80.6%) 95.3%

高等専門学校

17年 (就職率57.4%、進学率40.7%) 98.1%

22年 (就職率56.0%、進学率40.6%) 96.6%

短期大学

17年 (就職率80.8%、進学率10.4%) 91.2%

22年 (就職率76.1%、進学率13.3%) 89.4%

大学

17年 (就職率76.1%、進学率11.9%) 88.1%

22年 (就職率74.5%、進学率12.4%) 86.9%

専修学校（専門課程）

17年 (就職率81.1%) 81.1%

22年 (就職率78.8%) 78.8%

特別支援学校（高等部）

17年 33.8%  
(就職率30.1%、進学率3.6%)

22年 23.9%  
(就職率20.5%、進学率3.5%)

文部科学省「学校基本統計」

高校については、中等教育学校後期課程卒業者を含む  
専修学校（専門課程）については、「学校基本統計」において  
進学率を調査していないため記載していない。

## 2. 複数の場に共通する状況 生命・安全

### 30歳未満の自殺者数（男女計）

～19歳

17年 567人

22年 798人

20～29歳

17年 2,213人

22年 2,483人

警察庁「自殺統計」より厚生労働省作成

### 児童買春等の被害児童の数

児童買春

16年 577人

21年 408人

児童ポルノ

16年 1,313人

21年 1,458人

警察庁「少年の補導及び保護の概況」

### 触法少年（刑法）の補導人数

16年 8,587人

21年 5,581人

警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

### 30歳未満の不慮の事故での死亡者数

16年 1,264人

21年 810人

厚生労働省「人口動態統計（確定数）」

### 20歳未満の者が主たる被害者となる 刑法犯の認知件数

16年 131,148件

21年 60,103件

警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

### 刑法犯少年の検挙人数

16年 31,516人

21年 14,818人

警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

### 刑法犯少年の検挙人数 （人口1,000人当たりの人数）

16年 4.5人

21年 2.2人

警察庁「少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

### 薬物事犯で検挙された30歳未満の者の数 覚醒剤

16年 1,423人

21年 1,134人

大麻

16年 1,198人

21年 3,817人

警察庁「令和3年における組織犯罪の情勢」

肥満傾向児の出現率

小学生（11歳）

16年度 9.22%

21年度 10.98%

中学生（14歳）

16年度 7.88%

21年度 9.05%

高等学校（17歳）

16年度 9.30%

21年度 9.02%

文部科学省「学校保健統計」

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月から6月に実施される健康診断が当該年度末までに実施することとなったため、本調査においても調査期間を年度末まで延長して実施。  
そのため、令和3年度の結果は過去の数値と単純比較することはできない。

痩身傾向児の出現率

小学生（11歳）

16年度 2.96%

21年度 2.51%

中学生（14歳）

16年度 2.24%

21年度 2.59%

高等学校（17歳）

16年度 1.86%

21年度 2.63%

文部科学省「学校保健統計」

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月から6月に実施される健康診断が当該年度末までに実施することとなったため、本調査においても調査期間を年度末まで延長して実施。  
そのため、令和3年度の結果は過去の数値と単純比較することはできない。

裸眼視力1.0未満の者

小学生

16年度 31.5%

21年度 36.9%

中学生

16年度 54.6%

21年度 60.7%

高校生

16年度 66.0%

21年度 70.8%

文部科学省「学校保健統計」

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月から6月に実施される健康診断が当該年度末までに実施することとなったため、本調査においても調査期間を年度末まで延長して実施。  
そのため、令和3年度の結果は過去の数値と単純比較することはできない。

栄養バランス

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を  
1日に2回以上ほぼ毎日食べている者の割合

20代

16年度 30.3%

21年度 27.9%

全世代

16年度 59.7%

21年度 37.7%

農林水産省「食育に関する意識調査」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、令和2年度以降は調査方法を「郵送及びインターネットを用いた自記式」に変更して実施（令和元年度までは「調査員による個別面接聴取」）